

鳥取大学乾燥地研究センター  
平成 19 年度共同研究発表会プログラム

開催日：平成 19 年 12 月 4 日(火)

場 所：鳥取大学乾燥地研究センター  
合同ゼミ・多目的室

鳥取市浜坂 1390  
TEL (0857) 23 - 3411 / FAX (0857) 29 - 6199

---

日 程

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| I. 開会の挨拶               | ( 9:30 ~ 9:40)  |
| II. 共同利用研究員による共同研究成果紹介 | ( 9:40 ~ 12:00) |
| (昼食ならびに乾燥地研究センター案内)    | (12:00 ~ 13:30) |
| III. ポスターセッション         | (13:30 ~ 14:30) |
| IV. 共同利用研究に関する意見交換会    | (14:30 ~ 15:30) |
| V. 特別講演                | (15:30 ~ 17:15) |
| VI. 閉会の挨拶              | (17:15 ~ 17:25) |

# 研究発表会プログラム

I. 開会の挨拶 恒川 篤史 (乾燥地研究センター長) ( 9:30 ~ 9:40)

II. 共同利用研究員による共同研究成果紹介 ( 9:40 ~ 12:00)

1. A-I

北東アジアの地表面条件とダストの発生

研究代表者:三上 正男(気象研究所・国土交通技官)

2. A-II

点滴灌漑下の土壌水分分布モデルー節水灌漑システムの開発に向けてー

研究代表者:登尾 浩助(明治大学 農学部・准教授)

3. A-III

環境ストレスに対する根の生理・生化学および力学的応答

研究代表者:谷本 英一(名古屋市立大学 大学院システム自然科学研究科・教授)

4. A-IV

異種染色体添加コムギ系統の能力評価と育種への応用

研究代表者:辻本 壽(鳥取大学 農学部・教授)

5. A-V

土壌中の塩分が Tamarix の耐塩特性に及ぼす影響

研究代表者:矢部 勝彦(滋賀県立大学 環境科学部・教授)

6. A-VI

プロセスモデルによる土壌浸食予測と保全対策評価

研究代表者:西村 拓(東京大学 大学院農学生命科学研究科・准教授)

7. A-VII

人類史における乾燥地の役割-アフリカ/ユーラシアの歴史生態構造のモデル化-

研究代表者:嶋田 義仁(名古屋大学 大学院文学研究科・教授)

III. ポスターセッション

(13:30 ~ 14:30)

## ● 計画研究 A

1. 放射温度と熱収支モデルを併用した表層土壌水分推定法の開発(A-I)

研究代表者:松島 大(千葉工業大学 工学部・准教授)

2. 塩生植物の耐塩性メカニズムの種特性(A-V)

研究代表者:中須賀 常雄(琉球大学 農学部・教授)

3. 乾燥地土壌における散水浸潤に伴う浸潤前線の不安定化に関する研究(A-VI)

研究代表者:長 裕幸(佐賀大学 農学部・准教授)

4. 地中点滴灌漑における根群域上部への塩類集積(A-VI)

研究代表者:藤巻 晴行(筑波大学 大学院生命環境科学研究科・講師)

## ● 自由研究

5. 乾燥地の生活環境の持続的発展に役立つ造水技術に関する研究

研究代表者:林 農(鳥取大学 工学部・教授)

6. 高品質の水稲栽培技術確立のための基礎的研究:肥培管理が分光反射特性に及ぼす影響

研究代表者:石黒 悦爾(鹿児島大学 農学部・准教授)

7. 粗粒間隙系における液状水の圧力伝達について

研究代表者:粟生田 忠雄(新潟大学 農学部・助教)

8. 乾燥地の生物生産に関与する土壌要因の比較研究  
研究代表者:長谷川 和久(石川県立大学 実験農場・教授)
9. 穀類数種の耐塩性  
研究代表者 :松浦 朝奈(九州東海大学 農学部・講師)
10. 樹液流計測による蒸散量の評価  
研究代表者:大槻 恭一(九州大学 大学院農学研究院・教授)
11. 中国黄土高原における在来樹種リョウトウナラと外来種ニセアカシアの細根分布特性  
研究代表者:舘野 隆之輔(鹿児島大学 農学部・准教授)
12. 酸素・炭素安定同位体比から見た鳥取砂丘の植物の水利用様式  
研究代表者:小山 里奈(京都大学 大学院情報学研究科・助教)
13. 灌水による弓浜干拓地砂地の飛砂抑制に関する研究  
研究代表者:神近 牧男(鳥取環境大学 ・副学長)
14. 人工ゼオライトや水中曝気による土・水環境の改善に関する研究  
研究代表者:竹山 光一(島根大学 生物資源科学部・教授)
15. アカザ科塩生植物(Atriplex 属・Maireana 属)の Cd 吸収特性に関する研究  
研究代表者:石川 祐一(秋田県立大学 生物資源科学部・助教)
16. 土のキャピラリー・バリア機能を利用した効率的な雨水集水システムの開発  
研究代表者:森井 俊広(新潟大学 農学部・教授)
17. ハウスキュウリ栽培における収量および品質に及ぼす水分供給量の影響  
研究代表者:山田 智(鳥取大学 農学部・准教授)
18. 塩類集積により発現する密度流に関する研究～水分・塩分・熱の連成輸送機構の解明～  
研究代表者:木原 康孝(島根大学 生物資源科学部・講師)
19. 音波の共鳴現象を利用した連続土壌空気量の測定技術の開発  
研究代表者:中村 公人(京都大学 大学院農学研究院・講師)
20. マルチによる塩水処理下のフダンソウの水利用効率と塩集積の改善効果  
研究代表者:近藤 謙介(熊本県立大学 環境共生学部・嘱託助教)
21. Drinking Water Project in Nouakchott 及び Waste Disposal Project in Nouakchott(2 件)  
研究代表者:箱山 富美子(藤女子大学 人間生活学部・教授)

● 鳥取大学乾燥地研究センター所属プロジェクト研究員及び日本学術振興会特別研究員による研究紹介

22. Effectiveness of soil fertilization in promoting soybean compensation following defoliation.  
発表者:李 向軍(プロジェクト研究員)
23. 中国毛烏素沙地に生育する樹木の葉の水ポテンシャルと膨圧維持能力  
発表者:山本 牧子 (プロジェクト研究員)
24. 機能遺伝子アレイ法によるダイズ根粒菌の高塩濃度ストレスに対する遺伝的応答解析  
発表者:末継 淳(プロジェクト研究員)
25. Carbon flux over a soybean planted sand dune field in Tottori.  
発表者:ERDENE BAYER Munkhtsetseg(プロジェクト研究員)
26. 耐乾性燃料植物(ジャトロファ)を用いた一石三鳥の取り組み  
発表者:留森 寿士(プロジェクト研究員)
27. 暖冬寡雪が鳥取砂丘の地下水環境に及ぼす影響  
発表者:河合 隆行(プロジェクト研究員)
28. 中国黄土高原における小規模ウォーターハーベスティングの水収支評価  
発表者:齊藤 忠臣(日本学術振興会特別研究員)

#### IV. 共同利用研究に関する意見交換会

1. 「共同利用研究の今後の展開について」 (14:30 ~ 14:45)  
恒川 篤史 (乾燥地研究センター長)
2. 「共同利用施設・設備について」 (14:45 ~ 15:00)  
山中 典和 (乾燥地研究センター・准教授)
3. 意見交換会 (15:00 ~ 15:30)

#### V. 特別講演

1. 「Agricultural water management strategies in arid and semi arid areas」 (15:30 ~ 16:15)  
講演者: Muhammad IRSHAD (乾燥地研究センター・准教授)
2. 「グローバル COE プロジェクト(乾燥地科学拠点の世界展開)の概要 (16:15 ~ 17:15)  
説明について」  
講演者: 乾燥地研究センター長及び各研究グループ研究者

#### VI. 閉会の挨拶

- 共同研究委員長 山本太平 (乾燥地研究センター・教授) (17:15 ~ 17:25)

時間、タイトル、発表者等は変更になる場合があります。